
不完全な僕ら

楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不完全な僕ら

【Nコード】

N0260P

【作者名】

楓

【あらすじ】

生まれる前から人生を決められた子供達。

最初は自分の体だったはず。

それがだんだんと誰かの体になんて変わって……

僕らはまだ幼すぎて、気づいていなかったんだ。

あの時の約束を覚えているか、みんな。

みんなで誓った。僕らは生きると。

誰にも否定されない存在になると。

みんな、どこにいる？

僕はここにいる。

気づいて。

見つけて。

不完全な体を持った僕らは、常に誰かに必要とされ、消えろと願われていた。

もとは普通に生まれた僕ら。だけど生まれる前から決まっていた。僕らの体はいずれ、誰かと交換される。

そう、僕らはある意味での「生け贄」だった。

人が腕を怪我したら、僕らの腕と取り替える。

人が骨折したら、僕らの骨と取り替える。

「人」は完全でなければいけなかった。

そういうルールがみんなの頭に常にあった。

そうやって僕らは何年も、不完全な体を持ったまま生きてきた。

時には人に虐げられ泣いたこともあったけど、泣けない者もいた。

その子は、目を怪我した人と自分の完全な目を交換させられた。

どうして僕らだけがこんな目にあうのかなんて、考える事はできなかった。

いつ体の一部を交換させられるか分からなかった。

その恐怖はいつでも僕らをしめつけた。

僕らは逃げようとした。

自分達を人と思ってくれない者に、自分の一部を捧げることによって疑問を抱いた。

でも僕らの中には、足や腰を交換させられ、立てない子も多かった。

誰かをおいていくことなんかできなかった。

僕らは逃げることを諦めた。

僕らは約束をした。

自分の全てを交換させられても、生きると。

そしていつか、人に復讐しよう。

(後書き)

前から考えていたお話で、ぱっぱと書けました。もう少し長く書いてもいいかと思ったのですが、そこは皆さんの評価で判断したいと思います。

無駄な表現・わからないことがありましたら
お答えします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0260p/>

不完全な僕ら

2010年12月13日19時18分発行